地域別重点施策に係る施策取組状況評価

【いわき地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
多様な地域資源を生かした交流の促進 多彩な自然や温泉、特色ある拠点施設などを生かし、観光を始めとした広域的な交流の拡大を図るとともに、県内外、海外とを結ぶ広域交通体系の整備充実、小名浜港の一層の機能高度化など、連携、交流を支える基盤整備を進めます。	①　森・川・海の豊かな自然や温泉、アクアマリンパークなどの特色ある拠点施設、首都圏に隣接する優位性を生かし、FIT圏域を始めとする県内外の各地域との連携も図りながら、都市農村交流や定住・二地域居住を促進するとともに、広域観光の振興を図ります。	◆観光と物産の連携強化、情報発信の増大による知名度・ブランド力強化、観光関係の人材育成、観光都市としての環境条件向上等。	◆観光と物産の連携の強化、交流の拡大を図るほか、地域資源の再確認と積極的な情報発信を行い、知名度・ブランド力強化を図る。
	②　積極的なポートセールスを展開するとともに、港湾サービス機能の充実及び港湾施設の整備を進め、小名浜港の利用を促進します。	◆小名浜港東港地区の整備に当たり、適正な埋立材の確保と計画的な埋立管理。	◆小名浜港東港地区の平成２６年度の一部供用、平成３０年代前半の完成を目指して整備を進める。
	③　県内外との交流基盤となる常磐自動車道や国道6号、国道49号、国道289号などの広域交通体系の一層の整備を進めます。	◆東京、仙台を結ぶ浜通り軸、横断道軸・南部軸の結節点、東日本沿岸部の中核都市圏として、地域内外、県内外を結ぶ広域交通体系の整備。	◆連携・交流を促進するための広域交通体系の整備を進める。
創造的で活力のある産業の展開 技術交流や産学官連携の取組みを進め、地域産業の研究開発力・技術力の強化を図るとともに、温暖な気候や豊富な森林資源、潮目の海の漁場特性を生かし、農林水産業の振興を図ります。	④　高い工業集積を生かし、いわき明星大学や福島工業高等専門学校などの高等教育機関との連携も図りながら、技術交流や産学官連携の取組みを進め、地域産業の研究開発力・技術力の強化と高付加価値化を図ります。また、工業団地への企業誘致を進め、一層の工業集積と雇用・就業機会の創出を図ります。	◆人材育成事業講座を企画するにあたっての企業ニーズの把握。 ◆急変する地域産業のニーズへの対応が困難、長期事業の継続性や技術の定着性が課題。	◆企業ニーズを把握するとともに、基礎的な技術力の向上という視点に、新たな産業への参入の芽出しという点を加え支援していく。 ◆知財等の蓄積した技術で企業を支援しオリジナリティの高い商品開発に結び付くように努めるなど、産学官の連携を深め、地域支援を強化していく。
	⑤　温暖な気候を生かした特色のある、安全で安心な農産物の生産拡大と担い手の育成確保、集落営農体制の組織化の取組みを進め、農産物の安定生産体制の確立を図るとともに、豊富な森林資源を生かして木材の安定供給体制の確立を図ります。また、農林産物の消費拡大に向けた取組みを進めます。	◆新規就農や集落営農推進による担い手の確保。 ◆園芸産地担い手の確保と育成。	◆基盤整備の推進による担い手への農地集積と集落営農体制の確立を図る。 ◆施設化、周年化、規模拡大及び販売対策強化による園芸産地の担い手の確保と経営の安定化を図る。
	⑥　水産試験場や水産種苗研究所の調査・研究などを基に、資源管理型漁業やつくり育てる漁業を進め、水産資源の持続的利用を図ります。また、魚食普及活動の促進など、水産物の消費拡大に向けた取組みを進めるとともに、漁業後継者に対する支援や就労環境の改善を促進し、漁業経営の安定を図ります。	◆水産資源の管理体制の充実と管理手法の向上。 ◆水産種苗生産技術の更なる向上。	◆効率的な資源利用を促進するため、全県的な漁業者協議会の取組みを支援するとともに、資源管理内容の検証、新たな対象種の検討を進める。 ◆魚介類を積極的に増やしながら計画的に漁獲するため、種苗生産を行う団体の技術向上や運営の強化を図る。
豊かな自然環境と調和した多彩で魅力ある生活圏の形成 森・川・海の豊かな自然環境の保全を図りながら、広域多核型の地域構造を生かし、それぞれの地区が有する地域資源を生かした個性ある地域づくりを進めるとともに、地域内の連携・交流や日常生活を支える道路の整備などを進めます。	⑦　多彩な自然や地域に息づく文化などの地域資源を生かした個性ある地域づくりの取組みを支援します。	◆地域づくりの取組みに関する地域のニーズ把握が必要。 ◆地域の宝を生かし、都市と農村の交流や定住・二地域居住の促進、地域コミュニティの再生・活性化など、多様で活発な交流のための社会資本の整備。	◆地域のニーズを把握するため、地域づくりに取り組む各種団体等と情報交換していく。 ◆地域資源を活用した連携・交流や日常生活を支える道路の整備を進め、各地域の特色を生かした地域づくりを推進し、地域間連携に向けた取組みを支援する。
	⑧　魅力的な中心市街地の形成を図るため、いわき駅周辺の施設整備や街路などの整備を進めるとともに、中心市街地活性化のための取組みを支援します。また、港と一体となったまちづくりのため、小名浜港背後地などの整備を進めます。	◆商店の後継者及び中心市街地活性化を担うリーダーの育成。	◆後継者育成や創業希望者の受入に係る取り組みを推進し、商店街全体で賑わいを創出する体制・組織構築を支援する。
	⑨　広域多核型の地域構造を成している各地区相互の連携・交流や日常生活を支える道路の整備を進めるとともに、生活交通確保のための取組みを支援します。	◆農産物の生産・流通・加工等の有機的・一体的な整備を目的とした、農道整備の推進。	◆広域農道いわき地区の整備を中心に地域の基幹となる農道の整備を推進する。
	⑩　森林ボランティアなどによる森林（もり）づくりや夏井川、鮫川における流域連携など、自然環境保全に向けた取組みを支援します。	◆ＮＰＯ法人、任意団体等がボランティア活動を行うための資金が不足。 ◆流域連携事業について、事業予算の確保と運営事務局の在り方、ネットワークの拡充と存続。	◆森林ボランティア総合対策事業により助成措置の充実を図る。 ◆夏井川、鮫川における流域連携など、自然環境保全に向けた取組みを支援する。
	⑪　循環型社会の形成に向け、豊富な森林資源や長い日照時間を有する地域特性を生かして、バイオマスや太陽光などの再生可能なエネルギーの利活用に努めます。	◆木材価格の低迷等により、未利用材の搬出が低迷。	◆間伐材搬出システムの構築のため、間伐から搬出、木質バイオマス利用までの工程調査を継続し、データの収集と解析を行う。

【いわき地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
人と人とがつながる安全で安心な環境づくり 地域コミュニティの再生・活性化に向けた取組みを支援します。また、医師の確保、福祉サービスの質の確保に努めるとともに、河川改修、海岸保全施設整備等の防災対策を進めます。	⑫　地域コミュニティの再生・活性化を図るため、子育て支援などの地域で支え合う取組みや住民が主体となった地域活力を向上させる取組みを支援します。	◆地域コミュニティの再生・活性化に向けた取組みへの支援。	◆地域コミュニティの再生・活性化に向けた取組みを支援するほか、活動団体間の連携促進を図る。
	⑬　安全で安心な医療の充実のため、不足する病院勤務医を始めとして医師の確保に努めるとともに、高齢者や障がい者に対する福祉サービスの質の確保に努めます。	◆県全体の医師の絶対数不足の解消、医師の地域偏在や診療科偏在の改善。 ◆介護保険事業者の不正事案の防止、障がい福祉サービスについては、事業運営の適正化や透明性の確保、利用者に対する質の確保・向上。	◆総合磐城共立病院の病院勤務医の負担軽減を図る。また、公的病院への医師派遣事業を継続して取り組む。 ◆指定事業者に対して人員、処遇、報酬及び運営全般に関する実地指導等を計画的に実施していく。
	⑭　地域防災や県土保全の観点から、夏井川、鮫川などにおける河川改修や中山間地域などの地すべり対策、老朽化している海岸保全施設などの整備を進めます。	◆災害に強い社会基盤の整備、安全で安心に暮らせる地域社会の形成。	◆近年の局地的大雨などの対策を含めた災害に強い社会基盤整備を進める。